

企画展「いきものがたりー江戸東京のくらしと動物ー」開催のお知らせ

令和元年8月6日(火)～9月23日(月・祝)

公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館は、東京都とともに、オリンピック・パラリンピックが開催される2020年に向けて東京を文化の面から盛り上げる「Tokyo Tokyo FESTIVAL」を展開しています。

このたび、Tokyo Tokyo FESTIVAL の一つとして、企画展「いきものがたりー江戸東京のくらしと動物ー」を実施します。

都市に暮らす江戸東京の人々にとって、いきものは切り離すことのできない大切な存在でした。時代や世相が移り変わるなか、多くのいきものが、人々に可愛がられるとともに、労働力となり、また教養や娯楽の対象となりました。さらに、吉祥のしるしとして、様々な形で暮らしと関わってきました。

本展では、江戸東京の人々と、いきものとの多様な関係を、館蔵資料を中心に4つの構成でご紹介します。江戸の風俗と文化を伝える浮世絵から、近現代のくらしを物語る生活用品に至るまで、バラエティー豊かないきもの世界をお楽しみください。

1 会期

令和元年8月6日(火)～9月23日(月・祝)

開館時間: 午前9時30分～午後5時30分(土曜日は午後7時30分まで)

※入館は閉館の30分前まで

※サマーナイトミュージアム開催期間: 8月9日(金)・16日(金)・23日(金)・30日(金)は午後9時まで

企画展開催中の休館日: 8月19日(月)・26日(月)、9月2日(月)

2 会場

東京都江戸東京博物館 常設展示室内 5F 企画展示室

3 観覧料 企画展は常設展観覧料でご覧になれます

一般 600円(480円)／大学・専門学校生 480円(380円)／中高生(都外)・65歳以上 300円(240円)

* ()内は20人以上の団体料金。消費税込。

* 8月9日(金)・16日(金)・23日(金)・30日(金)はサマーナイトミュージアムのため午後9時まで開館します。(入館は閉館の30分前まで。)当日は、午後5時から常設展観覧料がサマーナイトミュージアム割引により学生、中高生の方は無料、一般・65歳以上の方は団体料金となります。学生証または年齢を証明できるものをご提示ください。

4 主催等

東京都、公益財団法人東京都歴史文化財団、東京都江戸東京博物館

5 展示構成および主な資料

■第1章 愛されたいきもの

いきものを愛し、めぐる時間を持つことは、暮らしを和やかにすることにつながりました。江戸時代以降、庶民もいきものを可愛がるために飼育するようになりました。その飼い方は、鳥の美しい姿や鳴き声の鑑賞、犬や猫はコミュニケーションを楽しむなど様々です。この章では、江戸東京の人々に愛されたいきもの姿を紹介します。



鶉会之図屏風
[展示期間: 8月6日～9月1日]
東京都江戸東京博物館／蔵



当世好物八契 溪斎英泉/画
[展示期間: 9月3日～9月23日]
東京都江戸東京博物館／蔵

■第2章 働いきもの

大都市、江戸東京で忙しく働いていたのは人間ばかりではありません。自動車のない時代、馬や牛は交通や物流において頼もしい働き手でした。また、人々の暮らしの節目となる行事や行楽にも、様々ないきものが活躍しています。ここでは絵画や写真、文献のなかから、働いきものを展示します。



東京十二題 こま形河岸 川瀬巴水/画
[展示期間: 8月6日～9月1日]
東京都江戸東京博物館／蔵



牛乳箱(明治牛乳)
東京都江戸東京博物館／蔵

■第3章 人気のいきもの

目新しいもの好きな江戸の人々にとって、海を渡って来た象やらくだなど珍しい動物は話題の種で、たびたび見世物興行されるほどの人気でした。明治時代には、競馬やサーカスが始まり、さらに動物園や水族館も開設され、現代に至るまで人気を集めています。この章は、人気になったいきものを紹介します。



しか茶屋 歌川豊国(初代)/画
[展示期間: 9月3日～9月23日]
東京都江戸東京博物館／蔵



両国広小路興行 象之図 歌川芳豊(初代)/画
東京都江戸東京博物館／蔵

■第4章 いきものデザイン

暮らしのなかで使う道具や衣装、装飾品には、吉祥の意味をもつ様々ないきものがデザインされ使われています。可愛く楽しいおもちゃには、動物は重要なモチーフとなっています。人々は、デザインされたいきものを身につけたり、使用することで、家族の健康や人生の幸福を願ったのです。ここではデザインされたいきものを展示します。



ねずみたんけい
鼠 短檠
東京都江戸東京博物館／蔵



土人形 左より 月待うさぎ・子持うさぎ・よこ猫・秋田犬
金沢(尾張屋)春吉/作
東京都江戸東京博物館／蔵

■体験ゾーン 描かたいきものを観察しよう

様々ないきものの観察、研究した成果で編纂されている現在の図鑑のような本は、江戸時代からつくられています。大名・武家を中心に発達した博物学の図譜や、庶民が親しんだ浮世絵には、いきものたちが生き生きと描かれています。リアルに描かれた動物図を、触ってめくる絵などを体験してお楽しみください。



鳥魚菜写生図巻 楽央斎/写
(資料+パネル展示)
東京都江戸東京博物館/蔵



黒塗桐鳳凰文様金銀蒔絵貝合道具(複製)
東京都江戸東京博物館/蔵



北斎漫画 葛飾北斎/画
(資料+複製めくる展示)
東京都江戸東京博物館/蔵

6 関連イベント・その他

■ミュージアムトーク(展覧会見どころ解説)

【日時】8月9日・23日(各金曜日) 午後4時から(所用時間:30分程度)

【集合場所】常設展示室5階 日本橋下

【参加料】無料(常設展観覧料は別途必要)

■こども向けミュージアムトーク(展覧会見どころ解説)

【日時】8月11日、9月22日(各日曜日) 午後2時から(所用時間:30分程度)

【対象】小学生

【集合場所】5F企画展示室入口

【参加料】無料(常設展観覧料は別途必要)

■「玩具絵 鯉」をつくってみよう

展示中の「玩具絵 鯉」(江戸時代のペーパークラフト)を作ってみましょう。

【日時】8月20日(火) ①午前10時30分から ②午後2時から(所用時間:1時間程度)

【対象】小学校3年生以上(小学生は保護者同伴)

【定員】各回20名

【会場】常設展示室5階 ミュージアム・ラボ

【参加料】無料(常設展観覧料は別途必要)

【参加方法】当日受付(各回開始10分前から受付開始、先着順)

■さわってみよう!昔の道具「江戸玩具 動物編」

江戸時代から今日まで愛され続ける、伝統のおもちゃを紹介します。

【日時】8月15日・22日、9月19日(各木曜日) 午後1時30分から午後2時30分

(所用時間:10分程度 随時参加可)

【対象】子供から大人まで

【会場】常設展示室5階 ミュージアム・ラボ

【参加料】無料(常設展観覧料は別途必要)

■ジュニアガイド(A5判 8ページ)

会期中、展示室で配布いたします。またホームページからダウンロードも可能です。

企画展「いきものがたりー江戸東京のくらしと動物ー」の広報に関するお問い合わせ

東京都江戸東京博物館 管理課 事業推進係 担当:早川、丸山、長屋

〒130-0015 東京都墨田区横網一丁目4番1号

TEL:03-3626-9907 FAX:03-3626-8001 E-mail:kouhou@edo-tokyo-museum.or.jp